



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オーナミ

コード番号 9317 URL <http://www.0073.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 正次郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長

(氏名) 山本 学

TEL 06-6445-0073

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,472	12.2	100	50.4	103	46.3	67	77.9
26年3月期第1四半期	2,203	5.0	66	—	70	—	37	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 72百万円 (135.9%) 26年3月期第1四半期 30百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第1四半期	6.44	—
26年3月期第1四半期	3.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	10,296	4,918	47.5
26年3月期	9,384	4,887	51.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 4,889百万円 26年3月期 4,859百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	5,266	17.5	211	37.7	204	34.4	122	52.8	11.70
通期	11,000	14.4	472	9.1	450	7.5	270	13.8	25.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	10,500,000 株	26年3月期	10,500,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	41,733 株	26年3月期	41,633 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	10,458,334 株	26年3月期1Q	10,460,178 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策により、企業の収益改善や輸出環境の回復など穏やかな回復基調となりましたが、一方で新興国の成長鈍化や政情不安により景気先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

この間、当社グループを取りまく経営環境は、官民需の回復、円安効果により、全般的に持ち直し、特に輸出案件、造船関連は上向きでありましたが、一方で同業者間の競争に加え、高止まりする燃料費の負担も大きく、依然として厳しい状況で推移しました。

このような情勢のもと、本年5月に堺事業所において新倉庫（9号倉庫）が竣工しました。この倉庫は、関西エリアでは数少ない大型天井クレーン設備を有しております。他社との差別化により重量物の保管、作業場所の提供、梱包などの需要に応じていき、輸出入関連の一貫物流を客先にPRしてまいります。また、本年4月には3隻目の社船を購入し、従来備船で賄っていた案件を社船に取り込み、また、効率配船を行うことにより売上、収益拡大を図るなど積極的な営業活動を展開してまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の営業収入は24億72百万円と前年同四半期比12.2%の増収となりました。

一方、利益面におきましては、全社的にコストダウンに取り組み、自車・社船の活用及び配車・配船の効率化による輸送コストの低減、作業の効率化による業務改善を推進するなど、積極的な企業内努力による利益確保に努めてまいりました結果、経常利益は1億3百万円と前年同四半期比46.3%の増益となりました。また、四半期純利益につきましては、経常利益が増加したことにより、67百万円と前年同四半期比77.9%の増益となりました。

営業収入の概況をセグメント別にみますと、物流事業につきましては、自動車産業向けプレス機器の輸出梱包や、船舶用エンジン等の国内輸送を確実に受注しました結果、その収入は23億88百万円と前年同四半期比12.2%の増収となり、セグメント利益は1億98百万円と前年同四半期比23.1%の増益となりました。

その他につきましては、保険代理店収入や車両等整備作業が増加したことにより、その収入は84百万円と前年同四半期比13.7%の増収となりましたが、賃貸収入の減少により、セグメント利益は19百万円と前年同四半期比12.8%の減益となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億11百万円増加して102億96百万円となりました。流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ70百万円減少して35億40百万円となりました。固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ9億81百万円増加して67億55百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金が87百万円減少したことによるものであります。

固定資産のうち、有形固定資産は前連結会計年度末に比べ9億80百万円増加して65億13百万円となりました。この主な要因は、堺事業所の新倉庫建設に伴う建物の増加によるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億24百万円増加して31億36百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5億56百万円増加して22億41百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ30百万円増加して49億18百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末51.8%から47.5%となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月9日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が56百万円減少し、利益剰余金が36百万円増加しております。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,043,732	956,236
受取手形及び売掛金	2,068,203	1,950,865
繰延税金資産	85,163	85,163
その他	420,618	554,643
貸倒引当金	△7,188	△6,582
流動資産合計	3,610,529	3,540,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	743,925	1,415,127
土地	4,047,092	4,047,092
その他(純額)	742,374	1,051,356
有形固定資産合計	5,533,392	6,513,575
無形固定資産		
その他	34,224	33,767
無形固定資産合計	34,224	33,767
投資その他の資産		
投資有価証券	134,024	135,131
その他	77,008	77,919
貸倒引当金	△4,575	△4,575
投資その他の資産合計	206,458	208,476
固定資産合計	5,774,075	6,755,819
資産合計	9,384,605	10,296,146

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	674,932	599,889
設備支払手形	192,129	400,244
短期借入金	1,186,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	133,687	227,401
未払法人税等	144,220	43,408
賞与引当金	203,414	102,249
役員賞与引当金	12,600	3,300
その他	264,719	359,631
流動負債合計	2,811,702	3,136,123
固定負債		
長期借入金	369,088	865,374
繰延税金負債	150,867	174,806
退職給付に係る負債	902,776	840,160
役員退職慰労引当金	56,670	53,233
特別修繕引当金	36,290	44,255
その他	169,231	263,545
固定負債合計	1,684,923	2,241,374
負債合計	4,496,626	5,377,497
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	525,000	525,000
資本剰余金	112,420	112,420
利益剰余金	4,317,515	4,342,994
自己株式	△7,776	△7,800
株主資本合計	4,947,159	4,972,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,430	29,188
為替換算調整勘定	5,736	3,120
退職給付に係る調整累計額	△121,368	△115,265
その他の包括利益累計額合計	△87,200	△82,957
少数株主持分	28,020	28,991
純資産合計	4,887,978	4,918,648
負債純資産合計	9,384,605	10,296,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業収入	2,203,019	2,472,509
営業原価	1,767,086	1,994,706
営業総利益	435,933	477,803
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	140,991	142,136
賞与引当金繰入額	57,659	57,445
役員賞与引当金繰入額	3,450	3,300
退職給付費用	17,799	19,257
役員退職慰労引当金繰入額	2,823	3,213
その他	146,492	152,090
販売費及び一般管理費合計	369,216	377,442
営業利益	66,717	100,360
営業外収益		
受取利息	41	41
受取配当金	3,087	1,998
固定資産売却益	1,121	5,030
為替差益	3,920	-
その他	2,424	2,529
営業外収益合計	10,595	9,600
営業外費用		
支払利息	6,013	5,596
その他	786	1,183
営業外費用合計	6,799	6,780
経常利益	70,514	103,180
税金等調整前四半期純利益	70,514	103,180
法人税等	33,832	34,788
少数株主損益調整前四半期純利益	36,682	68,392
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,210	971
四半期純利益	37,892	67,421



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	36,682	68,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,960	757
為替換算調整勘定	1,067	△2,616
退職給付に係る調整額	-	6,102
その他の包括利益合計	△5,892	4,243
四半期包括利益	30,789	72,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,000	71,664
少数株主に係る四半期包括利益	△1,210	971

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。